

岡山県環境保健センター調査研究計画書

番号	H27-03	課題名	児島湖水質汚濁メカニズムの解明			
期間	平成28～30年度	担当部課室	環境文化部環境保健センター水質科			
課題設定の背景	1 政策上の位置付け 本課題は、「新岡山県環境基本計画(エコビジョン2020)」に掲げる基本目標「安全な生活環境の確保」の主要施策である水環境の保全及び湖沼法に基づく児島湖第7期湖沼水質保全計画の施策に資するものである。					
	2 県民や社会のニーズの状況 児島湖の水質については改善傾向にあるが、COD、窒素、リンのいずれも環境基準を超過しており、良好な農業用水確保だけでなく、親水環境として児島湖の水質改善が求められている。					
	3 県が直接取り組む理由 児島湖の水質汚濁については、湖沼法に基づく指定湖沼として湖沼水質保全計画を策定し、各機関と連携して基準達成に向けた種々の対策を講じることが県の責務である。					
	4 事業の緊要性 平成28年度に策定される第7期湖沼水質保全計画の目標達成に向け実施する水質改善施策をより効果的なものとするため、早急な水質汚濁メカニズムの解明が必要である。特に、リンは環境基準の2倍程度で推移しており、重点的な対策が求められる。					
調査研究の概要	1 目標 流入水の負荷量及び児島湖の水質に係る物質収支の推移を詳細に解析することにより、汚濁メカニズムを解明し、併せて行政施策と水質変動の関連について検証を行い、水質改善施策検討の基礎資料とする。					
	2 実施内容 ・公共用水域の常時監視で取得している水質・水量データから児島湖での総合的な物質収支を解析する。 ・湖内での水質変化について沈降、溶出、内部生産等を検討し、児島湖の機能を解明することにより水質に影響を及ぼす因子についての解析を行う。 ・降雨時における河川からの汚濁流入負荷量について調査する。 ・流入河川ごとの負荷量変動から汚濁要因の解明を含めた詳細な調査を実施する。					
	3 技術の新規性・独創性 児島湖水質汚濁に係る長期的な物質収支の推移については、総合的な検討は行われていない。					
	4 実現可能性・難易度 有・難易度 中					
	5 実施体制 4名、関連する研究を行う機関との連携					
成果の活用・発展性	1 活用可能性 汚濁メカニズムの解明により、今後の湖沼計画策定に必要な科学的な基礎データを提供できる。					
	2 普及方策 年報、学会での成果報告					
	3 成果の発展可能性 児島湖の汚濁メカニズムの解明は、水質改善が進まない児島湖の浄化対策立案の一助となるほか他の閉鎖性湖沼の水質改善の参考となる。					
実施計画	実施内容	年度	28	29	30	総事業費
	物質収支の総合的な解析		—	—		〔単位：〕 千円
	湖内機能の解明					
	流域河川の調査解析					
	児島湖水質に関する補完調査					
	計画事業費		359	359	359	1,077
	一般財源		359	359	359	1,077
外部資金等		0	0	0	0	
人件費(常勤職員)		5,600	5,600	5,600	16,800	
総事業コスト		5,959	5,959	5,959	17,877	